

# KEIJYOJI

菊枝山 慶誠寺 通信

magazine

No.87

<https://www.facebook.com/keijyoji/>



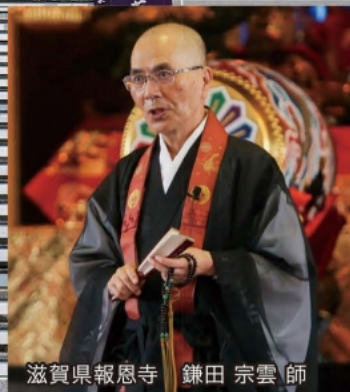
令和五年度

# 宗祖親鸞聖人報恩講法要

布教 滋賀県報恩寺

鎌田宗雲 師

令和5年9月10日(日)～12日(火)



滋賀県報恩寺 鎌田宗雲 師



令和5年9月10日から3日間、宗祖親鸞聖人報恩講法要が、執り行われました。今回の報恩講にご出講いただいたのは、鎌田宗雲先生。6年振りとなる慶誠寺報恩講の布教となりました。鎌田先生は、博学なことで知られる方で、親鸞聖人、本願寺の歴史、仏事の意味をわかりやすく伝える本を、たくさん残されております。今回も親鸞聖人のご法事である報恩講に際し、親鸞聖人の歩まれた道、その生涯をおして伝えようとされたものを、温かく和やかに皆様にお伝え下さいました。

鎌田先生は御年74歳、寂しいですが今回が、慶誠寺での最後の布教になるとおっしゃっていました。鎌田先生と慶誠寺は30年に渡るお付き合い、ご法話の節々でその長きに渡るご縁を、感慨をもって語っておられました。先代石田嗣麿住職の頃から、慶誠寺の報恩講に4年に一度ご出講されてきた鎌田先生。鎌田先生は、現住職を学生の頃から知っておられ、現在の様々な取り組みを頼もしく見ておられます。今年も現住職の子、慶耀君も大学生になり僧籍をとられ、報恩講に出勤をしている姿を見て、心より喜ばれていました。報恩講中、慶誠寺の職員はじめ皆に、物腰柔らかに話かける、鎌田先生。ご法話はその博識さと人を大事にする人徳があらわされていて、皆聞く人の心を温かくしていました。鎌田先生のお姿から学徳兼備という、僧侶のあるべき姿を見せていただいた気がします。鎌田先生誠に有難うございました。

慶誠寺法務員 辰巳大之

9月10日(日)

13:30 初速夜法要 奉賛大師作法

14:10 法話 ご講師/滋賀県報恩寺 鎌田宗雲師

初日の初速夜法要では「奉賛大師作法」をお勤めしました。このお勤めは1961年の親鸞聖人七百回大遠忌法要の時に制定されたもの。雅楽の音色と大勢でお勤めする声明の声に、報恩講を感じます。

また今回の報恩講に際し、古くなった経切り太鼓を新調し、この法要で、初めて用いられました。新調した太鼓の模様の美しさを、これからも多くの方に見て頂きたいと思っております。



9月11日(月)

10:00 きくし幼稚園・龍谷きくし保育園園児参拝

毎年、報恩講の中日には、きくし幼稚園と龍谷きくし保育園の園児による境内の親鸞聖人のお像に献花がおこなわれます。園児の合掌礼拝する姿は、いつ見ても心が温かくなるものです。



13:30 大遠夜法要 宗祖讃仰作法(音楽法要)

14:10 法話 ご講師/滋賀県報恩寺 鎌田 宗雲 師

2日目の大遠夜法要のお勤めは、2011年の親鸞聖人750回大遠忌法要の際に制定された宗祖讃仰作法です。このお勤めは雅楽に加え、オルガンや龍谷高校の聖歌隊による合唱も加わる、音楽法要。その美しく華やかな音の重なりは、なかなか一般寺院で聞けるものではありません。

10年前、慶誠寺の親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の際、ご門徒様からの寄付で作られた赤地に雅楽の楽器が描かれた打敷とともに、音楽法要が勤められるようになりました。今では、慶誠寺の報恩講といえば、音楽法要を思い浮かべる方が多く、美しい音色が本堂に響き渡りました。

9月12日(火)



11:00 御満座法要 報恩講作法

11:40 法話 ご講師/滋賀県報恩寺 鎌田 宗雲 師

最終日の満日中法要では報恩講作法が勤修されました。報恩講作法では導師を勤める当寺住職が「報恩講式」の拝読をされました。「報恩講式」とは親鸞聖人33回忌に際し、親鸞聖人の曾孫にあたる覚如上人が親鸞聖人のお徳を讀え、謝意をあらわし、御書きになられたものです。以来、親鸞聖人のご命日にはこの「報恩講式」が拝読され、報恩感謝の気持ちをあらわしたのが報恩講の始まりでした。「報恩講式」は西本願寺では毎年の御正忌報恩講の御満座(1月16日)で勤められていますが、報恩講式を拝読するためには御本山より許可を頂かなくてはならないため、一般寺院では、なかなか聞けないお勤めです。720年以上前に書かれ拝読されてきた「報恩講式」その歴史と思いを感じました。



慶誠寺住職 石田慶綱



慶誠寺法務員 鎌田大輔

# 秋季彼岸会

第十九回 慶誠寺布教大会  
令和5年9月22日(金)～9月24日(日)

9月22日からの3日間、秋季彼岸会と併せて第19回布教大会が執り行われました。初日は私鎌田が「他力本願」、2日目は石田住職「かならず再び会う」と正平法務員が「凡夫」、最終日は辰己法務員が「如来の呼び声」と、「拝読浄土真宗のみ教え」という本から御讃題をいただき、法話をさせて頂きました。

石田住職の御讃題「かならず再び会う」で使われているご文「この身は、いまは、ときはまりて候へば、さだめてさきだちて往生し候はんとすれば、浄土にてかならずかならずまぢまみらせ候ふべし」は「親鸞聖人御消息」の中にあるお言葉で、「御消息」とは親鸞聖人が関東から京都に帰られてから、往生されるまで関東各地の門弟に与えられたお手紙のことです。現代語に訳すと「私はもうすっかり年老いてしまい、きっとあなたより先に往生するでしょうから浄土で必ずあなたをお待ちしています。」という内容のお手紙です。

石田住職はこの世界は迷いの中であり、その原因は苦しみにあるとお話してくださいました。仏教で説いている苦しみの代表的なものに「四苦八苦」というものがあります。この八つの苦しみの中身は生病老死の四苦に加えて、愛別離苦(愛する者と別れなければならぬ苦しみ)、怨憎会苦(憎む者と会わなければならぬ苦しみ)、求不得苦(求めても手に入らない苦しみ)、五蘊盛苦(思うようにならない体と心に煩わされる苦しみ)を加えた八苦です。

そして苦しみの原因となるものは私の中にある煩惱であります。煩惱がなくなれば苦しみを感じることはなくなります。しかし煩惱は簡単に消えるようなものではなく、無明長夜と表現されるような深い闇そのものであります。しかしそんな暗黒の中にいた私たちを救いたいと願われた仏様こそ阿弥陀様であります。阿弥陀様の救いによって煩惱が無くなるわけではありませんが、しかし今ここで煩惱

をなくすことはできなくとも、この世に命を終えた時に阿弥陀様のはたらきによって、煩惱をなくした状態「さとり」を得る事が得る事ができます。

私たちの心を悩ませている煩惱がなくなれば苦しみは感じないかもしれません。言い方を変えれば苦しみを受け入れれば、また乗り越える力があれば苦しまないかもしれません。しかし、そうはいかないのが私たちです。苦しみをなぐす、受け入れる事はなかなかできません。そんな暗黒の中に灯りとなるのが阿弥陀様の慈悲の心です。そのあかりに気づかなくても、共に歩んでくださる仏様が阿弥陀様です。そして私たちの人生の確かな拠り所となる存在であるとお話してくださいました。

慶誠寺法務員 鎌田大輔



慶誠寺法務員 正平勝導



慶誠寺法務員 辰己大之



広島県 長福寺 石田 博文 師



宗祖親鸞聖人月忌法要  
世話人會・婦人會追悼法要

広島県 長福寺

石田 博文 師

令和5年10月15日(日)

10月の常例布教は例年世話人と婦人會の追悼法要を併せて執り行います。今回の布教使は広島県の長福寺から石田博文師をお迎えいたしました。

先生は広島からおいでのなられたのですが、元々は福井県出身で熱狂的な阪神タイガースファンで、18年ぶりのセリーグ優勝を大変喜んでおられていました。さらにご実家はお寺ではなく、農家であり、さらに宗旨は浄土真宗ではなく別の宗派であったそうです。その後奥様がお寺の娘さんだったこともあり、僧侶となつて現在は奥様のご実家のお寺の住職になったそうです。僧侶になる前は社会人であったこともあり、様々な体験をなさつておられて、その豊富な経験に基づくと法話をしていただきました。

先生のご法話の中で、私

ちの常識というものは実は存在しておらず、それぞれの偏見だけが存在している、とお話してくださいました。

今まで当たり前だったと思つていたことが時代や場所が変わつてしまうと当たり前ではなくなつてしまいます。私が子供の頃、列車の座席には灰皿があり、大人がそこでタバコを吸つていたのを覚えていません。列車だけではなく、映画館やデパートなんかでもあたりまえにすつていました。しかし今はどうでしょう。列車の座席には灰皿は存在せず、列車でタバコを吸うことはできません。映画館やデパートももちろん禁煙です。偏見とは偏つたものの見方、言い方を変えれば自分の都合の良い見方となります。改めて自分を思い返してみると、沢山あるなと思ひ知らされま

す。例えば、ある時ドライブに

行き遅い車の後ろを走つていました「もう少し早く走つてくれないかな」と思うのですが、逆に自分が後ろから速い車に追い立てられると、「なぜそんなに飛ばしているのだろう」と考えてしまいます。また、買い物をして並んでいると、レジの会計が遅いと「早くしてくれよな」と思うのですが、逆に自分が会計に手間取つて、列が並んでる時などは相手が早くして欲しいなどとは考えないのです。

少し我が身を振り返るだけでも、どこまでも自分の都合しか考えていない自分の存在だなと今回の法話を聞かせていただいたいて考えさせられました。

慶誠寺法務員 鎌田大輔



MORINAGA  
株式会社 盛永組

安全・安心 快適な社会環境づくりを!

本社：旭川市4条通5丁目左10号  
TEL (0166) 22-0151 FAX (0166) 22-0170  
札幌支店：札幌市中央区南1条西6丁目 旭川信金ビル  
TEL (011) 271-6495 FAX (011) 221-6897  
営業所：東京・関西・関東

<http://www.morinagagumi.co.jp>



# 秋季永代経法要

令和5年10月28日(土)〜30日(日)  
夕張郡長沼町 警報寺 天野廣海 師

令和五年度の秋季永代経法要は夕張郡長沼町警報寺より天野廣海氏をお迎えして三日間にわたって勤められました。

が果たして有りますでしょうか。きつと自分の中には「死」というものは無く、自分以外の「誰か」の所にやってくるもの、という認識ではありませ

で「人」は一人では生きていくことができない、そして支え合いながら生きていくものであるとお話下さいました。その後、参加してくれた子ども

なく救われていく世界、お浄土であります。そこが有るか私は安心して生きていけるのであります。そのことを三木清氏の著書「人生論ノート」

初日にご講師は永代経とは過去から現在そして未来永劫にわたって仏法が継承され、またその仏法を聞かせていただく場所(寺院等)を護っていただけるよう願って執り行われる法要である、とそのお意義についてお話してくださいました。そして「命あるものは必ず死にます。」といわれました。

全ての人に訪れるものであります。そうやって先に逝く人が有ったおかげで今、私が同じ世界でまた会える教えを聞かせていただけているのであります。そのことを胸におきながら、そして死んで終わりは無い世界が有るということ

先祖の人数は十億人を超える人数になると教えて下さいました。そうやって考えていきますと「自分にまったく関わりが無い人間(他人)はただの一人としていない。だからこそ苛めや暴力などを傷つけるようなことをしてはいけない」ということをお話下さいました。参加していた子ども達も真剣に話を聞いていたようでありました。

それが旅ではなく放浪でありますし、ましてや人生の終わりが行き止まりだったり何もなかったりするのであれば人生の終わりを迎えるに臨んで、そこには不安や恐怖以外の何物もありはしないことでしょうか。だからこそお浄土という帰る場所が有ることによって安心した人生を送ることができるとは思いませんか。

そもそも「死」とは本来驚いたりするようなことではない筈のものであります。そして必ず死ぬことが分かっているのならばどうして何のために生きているのか、と問われ

二日目は先ず、同日に開催されていたお寺の子ども会の参加者と一緒にお勤めをした後のお話となりました。ご講師は「人」の字を板書されたあとにその字の成り立ちを説明して下さいました。そのう

「という書籍より「かならず再び会う」の項を拝読してからのご法話となりました。その中で前日にも触れられた「死」についてお話下さいました。そこは煩惱具足の私が間違

三日目はお念仏「南無阿弥陀仏」についてのお話を詳しくなされました。「南無」とは「帰命」であり「勅命」であり「帰依信順」であります。つまり仏は私に「ただ任せよ」と

出せない大変難しい問題であります。私たちが一人一人が考えてみなければいけないこととでありましょう。しかしながら私たちは日常生活の中で「死」ということを考えたこと

三木清氏の著書「人生論ノート」から「人生は旅そのもの。旅を旅たらしめているものは帰る場所があるからである」の言葉を紹介くださいました。仰る通り帰るところが無ければそれは旅ではなく放浪であり

三木清氏の著書「人生論ノート」から「人生は旅そのもの。旅を旅たらしめているものは帰る場所があるからである」の言葉を紹介くださいました。仰る通り帰るところが無ければそれは旅ではなく放浪であり

三木清氏の著書「人生論ノート」から「人生は旅そのもの。旅を旅たらしめているものは帰る場所があるからである」の言葉を紹介くださいました。仰る通り帰るところが無ければそれは旅ではなく放浪であり



仰っているのであります。そして「阿弥陀仏」は何の「行」もできない煩惱まみれの凡夫である私を、必ず救うためのすべての「誓(願)」と「行」が成就されて出来上がっているのであるとお話くださいました。ご講師は「人間は生きる羅針盤を持っていない唯一の生き物である」と前置きされて「例えばウミガメは卵から孵化したらすぐに砂の中から這い出てきてまっすぐに海に向かって這って行く。しかし人間は生まれてすぐには何もできない。周りのたくさんものから支えられ守られ教えられて成長していく。その過程で初めて生きていく方向を見出していく」とお話下さいました。だからこそ私は仏の起こされた誓い(願)が一体だれの為に、なんのために起こされたものなのかをよくよく聞き開き、自分自身が生きていく羅針盤としていくことが大切なのであります。そして何の心配することもなくただそのままの私を仏にお任せして「南無阿弥陀仏」の六字のみ名を喚ばせていただくばかりなのであります。

慶誠寺法務員 正平勝導

## 永代経懇志ご進納

令和五年秋季永代経法要では、四月の春季永代経法要以降に永代経懇志をご進納いただいた十七名の開闢法要を併せてお勤めさせていただきました。

また秋季永代経法要にあたり皆様よりたくさんのお仏供米をご進納いただきましたこと誠に御礼申し上げます。



別修

永代経開闢法要

第四種 志納金  
三十万円

松岡雄一郎  
柴田フデ  
米澤慶治  
野中ヨシノ  
森谷千代  
松原昭一  
平崎隆  
白井ミツ子  
佐藤邦雄  
上田喜代之  
三浦美也子  
本間修  
賀戸キサ  
林清明  
大垣清道

総永代経開闢法要  
第三種 志納金  
十五万円

伊藤一則  
伊藤則子

法要会席 5,250円～

雪の屋

旭川市神居町富沢409観音台 Tel 0166-61-2266



秋季永代経を機縁として

# 亡き方へ贈る 400字の手紙



秋季永代経法要に際し、「亡き方へ贈る400字の手紙」を募集させていただきました。これは、先にお浄土に往生された故人に向けて、その想いを手紙にして書かれたものです。今回募集したところ、6通の手紙をお寄せいただきました。

それぞれの手紙を、見させていただきますと、皆さんの大切な方を想う言葉は美しく、あたたかい気持ちになりました。手紙を書く中で、皆さん先立たれた方を想い、出逢われているのだと思います。

また、言葉の表現こそ様々ですが、皆さん、先立たれた大切な方と同じところへ往かせていただくことや、見ていてくださっていると、言葉がありました。先立たれた方から大切に思われ、お浄土でまた出会わせていただくこと、浄土真宗のみ教えが、いきているのだと感じたところです。

お手紙をお寄せいただいた皆様、誠に有難うございました。また折を見て、亡き方へ贈る400字の手紙を募集させていただきたいと思います。

お義父さん、お義母さん、あなた

お元気ですか。今日は、あなたの九十八歳の御誕生日ですよ。おめでとうございます。

仏さまの前で一生懸命お念仏を申し上げました。お誕生日プレゼントですよ。

あれから随分たちましたね。

あなたが六十歳私は五十七歳。

若かったですね。私はあれから頑張りましたよ。少し疲れしました。

そちらはどうですか。みんな仲良く

お念仏さんまいのですか。ご先祖様たちが私達を守って下さっていることは、いつも わかっております。難題のあとには、いつもあなたが私の前に、やってこられて「良く やったね」とほめて下さるのですもの。

「ありがとうございます」とつてもうれいす。私もそのうちご先祖様になるのでしょう。その時はよろしくお願ひ致します。

亡き夫の誕生日によせて

法名 浄應院釋俊誓 俗名 中川久雄

命日 昭和六十一年 六月十七日 行年六十二歳

中川えつ子



## 父さんごめんね

冬の寒い二月、父さんがまだ五十歳、お浄土の世界へ逝きました。兄は大学生、私は高校を卒業してまだ三年、弟は高校生、妹は中学生で本当に困惑しました。

でも頼りない私が後を継ぎ、母を頼りに農業を続けたのでした。ただ、大切な父さんの法名を読み違えたまま何十年もそのままになっていました。月参りのお坊さんに「お世話をいただき、本山と連絡を取っていただいて、令和二年三月きちんとした法名をいただきました。

もう一つ、父さんの五十回忌ができなかったので、併せてごめんなさい。私の体調が悪かったのです。最後に現世の報告をします。

母は昭和六十三年七十八歳でお浄土へ逝きました。兄は北大の教授から名誉教授になり定年退職後も室蘭工業大学や北海学園大学で教鞭を続け八十一歳で亡くなりま

したが、良い人生だったと思います。弟は同じ北大で大学院を二年出て高校の教師となり、六十九歳で亡くなりました。

妹は藤女子短大を出て保育士の資格を取りカトリック信者となって今も活躍しています。

私と妻も高齢になり、励まし合いながら頑張っています。家族は二男一女で、次男が室蘭工業大学で博士号を取り、今は関西電力の原子力安全に関する研究員として活躍しているらしいです。

気がかりだった父へのお詫びと近況報告でした。

合掌

法名淳典院釋教豊 俗名 山田豊吉  
命日昭和三十三年二月十三日 行年五十歳

山田稔

## 命のバトン

別れはある日突然のことでした。

「母ちゃんが倒れたらしい。」

当時交際中だった夫が慌てて私にそう告げて、勤務先の札幌から実家に駆けつけましたが、義母はすでにお浄土に往生されたあとでした。

二人の息子を育て上げ、パワフルで料理上手だったお義母さん。葬儀にはご縁のあったたくさんの方々がそれぞれに心温まる思い出話をされて、朗らかで人情味あふれる在りし日の姿がよみがえるようでした。

あれから三十五年の時が流れました。

お義母さん、この春には六人目の元気なひ孫が誕生しましたよ。この世では抱き上げることは叶わなかったけれど、お義母さんの命は脈々と結ばれているのですね。お仏壇に小さな手を合わせている幼子を、きつと微笑みながら見守っていてくれるように思えて感謝の気持ちでいっぱいになるのです。

その人を憶いて われは生き

その人を忘れて われは迷う

来る年三十七回忌を迎えます義母への手紙を贈らせていただきました。

法名 明光院釋尼妙節 俗名 石川節子

命日 昭和六十三年四月五行年 四十八歳

美加子

## 有難うございました

来たる十二月二日は、父の三回忌です。

昭和四十七年中学一年生になったばかりの、一人息子の一太君が数日の入院の後、帰らぬ人となってしまいました。早すぎる死に声を挙げ大泣きした母は九十三歳まで生き、平成二十五年に永眠しました。一人で旭川に住んで会社経営の任に当たっていた父も、令和三年に旅立ってしまいました。一家三人は私たち夫婦の済む兵庫県西宮市にほど近い神戸市の六甲山中腹に立つ墓に眠っています。私たちの子、孫たちは夏が来ると旭川へ行き、父たちに会うのをとても楽しみにしていました。

春光の家の畑に育ったトマト、きゅうり、なす、じゃがいも、ささげなどの収穫を喜んでいました。旭川は孫たちの第二のふるさとなっていたことは間違いありません。父はよく「死は浄土の入口と思えば、何と恐れることはない」と言っていました。三人の思い出を大切に余生を、生きてまいります。有難うございました。 合掌

法名 大益院釋徳治 俗名 井内治彌

命日 令和三年十二月二日 行年 九十六歳

谷口澄・清美

## 有り難う 感謝

早いもので、昨年父の三回忌、コロナもあり、行なうこともできず、本年は母の三回忌になります。生前は、両親とも、父は働きながら、母と一緒に畑仕事をしている姿を思い出します。

ある日、母が病に倒れ、リハビリ生活と、慣れない病院生活が始まりました。

その後、父も倒れ、両親とも長い病院生活が始まりました。

病院のベッドの上で、細々と話す声、衰えて細くなった体、何も言えず、寂しくなったことを覚えています。

子どもへの思い、孫の姿を見ること無く、お浄土に旅立ちました。有り難う感謝。信心。合掌

法名 浄願院釋諦成 竹澤 利夫

命日 令和二年八月二十日 九十二歳

法名 清澄院釋尼芳美 竹澤 スマ

命日 令和三年十一月二十七日 九十三歳

竹澤 範明

## 逢いたいなー

お父さん結婚五十周年の九月十五日がきました。一緒に迎えられなくて、残念です

病気のため息がうまくできず、苦しい、痛い辛い毎日でした。段々と体重が減っているのに何もできずごめんさい。

食欲のないお父さんに「あと一口でいいから食べて」等言っでごめんさい。美味しい、好きな物を、もつと食べてもらいたかったです。今は色々と考えて後悔ばかりしています。

お父さんが一番心配していた弟のことは、息子が納骨後の食事時に、博幸さんと二人で今後の事を話してお父さんの一周忌までにきめてもらおうそうです。なんとか私も安心してもらえるように、一人で寂しいけれど仏壇を守り、毎日を過ごしていきたいと思っています。お父さんの様に上手に逝けるか分からないけど、その時が来たら必ず迎えに来て下さい。

法名 釋康了 俗名 田中康之

命日 令和五年四月一日 行年七十六歳

田中清子



# 折り染めのうちわを作ろう



寺子屋キッズ8月の活動は、折り染めのうちわを皆でつくりました。今回寺子屋で初めて行った折り染め。折り染めは、半紙を幾重に折って、その一部を、絵の具で着色し、折り目を開くと、半紙全体に模様ができるというもの。その模様は折り方、着色の仕方で無限に広がります。折り染めの活動をするにあたり、試作を大人もやってみましたが、中々思いどおりの模様にはなりません。しかし、言い方を変えれば、思いがけない素敵な模様ができるといふ魅力がありました。子ども達も、何回も色んなパターンを試しました。花柄の

ようなものや、たくさんの幾何学模様ができ、折り染めの奥深さを味わいました。皆、お気に入りの柄を選び、うちの骨だけ残したものに半紙を貼り、オリジナルのうちわを作っていました。私の出身地の奈良県では、「奈良うちわ」という透かし彫りの手作りのうちわがあり、綺麗なうちわは、暑い日におおぐ以外にも、家に飾るオブジェとして利用されています。今回作った皆のうちわもそれぞれのご自宅で飾られています。思いま

慶誠寺法務員 辰巳大之

# 安心の子どもサークル

# お寺で学ぶ、お寺で遊ぶ、



TERAKOYA KIDS  
寺子屋キッズ!



寺子屋キッズ!  
きくし塾への入会申し込みは  
いつでも受付しています。気軽にご連絡下さい。

TEL 0166-31-2871 (慶誠寺)

令和5年8月26日(土)



## 作って遊ぼう

## 巨大人生ゲーム

令和5年9月30日(土)

9月の寺子屋キッズは巨大人生ゲームを作って遊びました。人生ゲームは1960年(昭和35年)にアメリカで発売されたボードゲームで、日本では1968年(昭和43年)に発売された。現在も時代に応じて変化しながら様々なバージョンが発売されています。

まず子ども達に一人2枚、マスの内容を考えて書いてもらいました。1枚目は日常の出来事と共に金額を書いてもらいました。(例 く円もらう、く円払う) もう一枚は金額ではなく動き(例ハイタッチをする)を書いてもらいました。子ども達は簡単に思い付かなかったよ

うで、ボランティアの大学生がアドバイスを受けながら制作していました。子どもらしいなと思ったのは出来事の割合は支払わなければならない金額が多かったり、逆に少なすぎないかとずいぶんギャップがあつて大変面白そうだなと思いました。

その後制作したマスを外に持っていき境内を使ってゲームをしました。子ども達は晴天の中楽しそうにゲームで遊んでいました。

慶誠寺法務員 鎌田大輔



## 楽器を作って演奏会をしよう

令和5年10月29日(日)

10月の寺子屋キッズは楽器を作って演奏会をしました。楽器を作る材料はペットボトル、ペットボトルの蓋、空き缶、発泡トレイ、牛乳パック、折り紙、ストロー、ビーズ、輪ゴム、ドングリを使い、ギター、カスタネット、マラカス、オカリナを制作しました。カスタネットとマラカスは比較的簡単に作れて、すぐ音も出ていましたが、ギターとオカリナは作るの簡単なのですが音を出すことに苦労していました。特にオカリナは大学生も音を出すのに苦戦していたよう

作り終わった後は大学生のオルガン

の演奏に合わせて、演奏会をしました。演奏した曲は1・虫のこえ、2・夕やけこやけ、3・ふるさとの3曲でした。わずかな時間で作った楽器ではあったのですが、ちゃんと合奏になっていたには驚きでした。「音楽」は音を楽しむと書きま

す。子ども達がとても楽しそうに演奏しているのを見ると、改めて「音を楽しむ」事ができていたようでした。

慶誠寺法務員 鎌田大輔



学校法人旭川龍谷学園 旭川龍谷高等学校 陸上競技部(女子駅伝)

# 全国大会出場おめでとう

## 支援の募金活動へご協力をお願いします。



### 陸上競技部女子第35回全国高等学校駅伝競走大会へ

12年連続 12回目の出場(2012~2023)

陸上競技部・駅伝(女子第34回全国高等学校駅伝競走大会)

京都市・たけびしスタジアム~都大路特設駅伝コース折り返し21.0975km

令和5年12月24日(日) 10:20 スタート

京都市 たけびし スタジアム NHK 総合テレビで 生中継

全国高等学校駅伝競走大会

ホームページのご案内

<http://www.koukouekiden.jp/>



#### 大会出場への支援金・ご寄付のお願い

旭川龍谷高等学校教育振興会 会長 守田 和平

皆さまには、本校の教育活動支援に、特別のご配慮 をいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。さて、この度、陸上競技部・女子駅伝が北海道代表として12年連続で全国大会に出場することとなり、関係者一同喜びに沸いているところです。そのような中、選手を含め18人の部員を派遣する予定です。12月中旬の出発時まで本校のインドアトラックで走り込みを続けますが、その間、関東での記録会参加や事前合宿が必要でありますことから、選手団派遣費も相当多額になります。つきましては、学園と協議し、下記のとおり、支援 の寄付を募らせていただくこととなりました。年末を控え 出費が多端の折、誠に恐縮なお願いでございますが、事情ご賢察賜り何卒よろしくお願いたします。

#### 支援金 募金のご案内

### 3,000円以上のご支援をお願いします

送金方法は、次の銀行預金口座へ

慶誠寺門信徒の皆様は

振込みの際に【氏名・(門徒)】と記載してください。

#### 【銀行振り込み口座】

北洋銀行大雪通支店 普 3111086

旭川信用金庫豊岡支店 普 0578348

【名称】 旭川龍谷高等学校教育振興会 モリタ カズヒラ 守田和平

皆様のご支援をお願いいたします

学校法人旭川龍谷学園 理事長 石田慶嗣/旭川龍谷高等学校 校長 内藤佳和

旭川龍谷高等学校の誇りを胸に、陸上競技部(女子駅伝)は北海道代表として、これまでの練習の成果を存分に発揮してくれると期待しています。生徒たちが持てる力を出し切ることでできる環境を整えるために、皆さまの特段のご理解と温かいご支援・ご声援をよろしくお願いたします。

# 2024年 慶誠寺年間行事スケジュール

(令和6年)

掲載のスケジュールはどなたでも参加頂けます。お気軽にご来寺下さい。

1月1日(月)	7時半	修正会 御年始配布(先着100名)
1月15日(月)	13時	明如上人御祥月法要

2月5日(月)	11時	慶誠寺仏教婦人会 新年総会
2月15日(木)	13時	九条武子夫人如月忌

3月15日(金)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
----------	-----	------------

## 〈春季彼岸会〉3月19日(火)～3月21日(木)

3月19日(火)	13時	春季彼岸会
3月20日(水)	13時	
3月21日(木)	13時	第20回慶誠寺布教大会

## 春の法要期間

### 〈春季永代経法要併修〉4月13日(土)～15日(月)

御講師 山口県下関市浄満寺 新晃眞師

4月13日(土)	13時	立教開宗記念法要
4月14日(日)	11時	門徒入門式
	13時	門信徒総追悼法要
4月15日(月)	13時	春季永代経 満日中法要

5月15日(水)	13時	宗祖親鸞聖人降誕会
----------	-----	-----------

6月15日(土)	9時	仏具磨き/草刈り奉仕
	13時	聖徳太子御命日講

7月15日(月)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
----------	-----	------------

7月21日(日)	10時～14時	慶誠寺関東在住の門信徒の集い in築地本願寺
----------	---------	---------------------------

8月19日(月)	9時	仏具磨き
----------	----	------

## 宗祖親鸞聖人報恩講 9月10日(火)～9月12日(木)

御講師 福岡市真正寺 宗秀融師

9月10日(火)	13時半	初逮夜法要
9月11日(水)	13時半	大逮夜法要
9月12日(木)	11時	満日中法要

## 〈秋季彼岸会〉9月22日(日)～24日(火)

9月22日(日)	13時	秋季彼岸会
9月23日(月)	13時	
9月24日(火)	13時	第21回慶誠寺布教大会

10月15日(火)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要 (世話人会・婦人会追悼法要)
-----------	-----	------------------------------

## 〈秋季永代経法要〉10月19日(土)～10月21日(月)

御講師 増毛町西暁寺 藤順生師

10月19日(土)	13時	秋季永代経法要
10月20日(日)	11時	還暦古希喜寿傘寿米寿卒寿のつどい
	13時	秋季永代経法要
10月21日(月)	13時	秋季永代経法要

11月15日(金)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要 (仏教婦人会報恩講)
-----------	-----	--------------------------

12月15日(日)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
-----------	-----	------------

12月31日(火)	22時半	除夜の鐘 幻冬フェスタ2024
-----------	------	--------------------

「最近、小さな字が読めない」と嘆くようになった。そうです、私も老眼の仲間入り。白髪が目立ち始め、痩せにくくなり、夜は何度もトイレに行くために起きる。生きている以上は、「死」は避けて通れないのと同じで、「老化」もまた必ず訪れるもの。皆さんも、思い当たることがありませんか。▼そんな「老化」を認めたくない、アンチエイジングにいそしんでいませんか。「年齢を重ねると老いていく」と頭で理解することはできても、身をもって体感するのは大きな違いがあるのです。この「老化」を受け止めることができると、自分の最後の生活が大きく変わってくると思う。▼仏教の考え方で「正見」という言葉がある。これは、物事の事象を正しく見て、明らかにすることを意味する。お釈迦さまは、あらゆる事象は変化しながら、やがて死滅に向かっているのだと正しく観察された。つまり、あらゆるものは、絶え間なく変化し続け、常なるものはない。▼「老化」や「死」は、生き物だけのことではなく、様々なモノにも当てはまる。新車の時は故障することは少ないが、年月が過ぎればエンジンが故障したり、タイヤが摩耗し、車体も錆やガタがくる。それと同じように、私たちの体にも起こるのが老化。案外当たり前のことでも、自分のことになると正しく観察することが難しい。「若いころの自分に戻りたい」と必死にあらがうのだ。▼「老化」にあらがいがいながら、自分自身を縛り付けているのだと思う。「老化」にあらがうのではなく、そこから解放されたらどんなに楽か、「老化」は自然の法則。老いは不幸ではなく、「老化」を嘆き続けていることが不幸なのだと思います。人生百年時代。老いを楽しみましょう。



住職の戯言

『日々是々』

人生百年時代

慶誠寺住職 石田慶嗣

# 4年振りにフルラインナップ!

旭川最大級の除夜の鐘イベント

帰ってきた

菊枝山慶誠寺

入場無料

## 除夜の鐘 幻冬フェスタ 2023

これで本当に見納め!  
新年カウントダウン花火  
新宿カウボーイ大晦日&新春爆笑ライブ!

2023年12月31日(日)

- 22:00 開門(除夜の鐘整理券配布)
- 23:30 大晦日だよ 新宿カウボーイの年越し爆笑ライブ!
- 23:10 除夜会(法要修行)
- 23:30 除夜の鐘 一般開放(0:30まで)
- 0:00 新年カウントダウン花火大会
- 0:20 新年だよ 新宿カウボーイの新春あけおめ爆笑ライブ!
- 1:00 新春もちまき&お楽しみじゃんけん大会(終了後閉門)

★白酒・年越しそば 無料配布 無くなり次第終了

2024(令和6)年1月1日(月)

- 7:30 修正会(法要修行) 参拝記念品 腕輪念珠授与

新宿カウボーイProfile

石沢 勤(写真左)  
新潟市出身

かねぎよ勝則(写真右)  
旭川市出身  
一般社団法人漫才協会理事  
旭川観光大使

NHK「オンパト+」日本テレビ「ZIP」「エンタの神様」「笑点」フジテレビ「爆笑レッドカーペット」「THE MANZAI2012 認定漫才師特番」「さんまのお笑い向上委員会」等出演多数

慶誠寺除夜の鐘「幻冬フェスタ」実行委員会 慶誠寺 旭川市豊岡5条4丁目4-14 Tel 0166-31-2871

※駐車場は龍谷さくし保育園裏側駐車場をご利用出来ますが、駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。